

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                           |     |           |
|----------------|---------------------------|-----|-----------|
| ○事業所名          | かぶとむしクラブ kalmia           |     |           |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年 3月 27日 ～ 令和8年 3月 31日 |     |           |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                    | 19人 | (回答者数) 6人 |
| ○従業員評価実施期間     | 令和8年 3月 16日 ～ 令和8年 3月 27日 |     |           |
| ○従業員評価有効回答数    | (対象者数)                    | 6人  | (回答者数) 6人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 28日               |     |           |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                   | さらに充実を図るための取組等                        |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 職員間の連携が取れており、情報共有がスムーズに行われている。             | 日々の申し送りや会議を通して、子どもの様子や支援内容を細かく共有している。   | 情報共有の方法を統一し、記録や伝達の質の向上を図る。            |
| 2 | 子ども一人ひとりに合わせた個別支援が行われている。                  | アセスメントを基に個々の特性に応じた支援や関わりを行っている。         | より専門的な知識を取り入れ、支援の質の向上につなげる。           |
| 3 | 安心して過ごせる落ち着いた環境が整えられている。                   | 環境設定や視覚支援を取り入れ、子どもが分かりやすく行動できるよう工夫している。 | 活動スペースの見直しや環境整備を行い、より過ごしやすい空間づくりを目指す。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                           | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                             |
|---|--------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 | 活動スペースに余裕がなく、環境面で制限がある。                    | 利用人数に対してスペースが十分でないことや、部屋の使い分けが難しいことが要因である。  | 活動内容に応じたスペースの使い分けや、配置の見直しを行い、安全で過ごしやすい環境づくりを進める。 |
| 2 | 職員間の情報共有にばらつきがある。                          | 共有方法やタイミングが統一されていないことが要因である。                | 記録方法や申し送りのルールを統一し、誰でも同じ情報を把握できる体制を整える。           |
| 3 | 活動プログラムが固定化しやすい傾向がある。                      | 日々の業務の中で新しい取り組みを検討する時間が十分に確保できていないことが要因である。 | 職員間でアイデアを出し合う機会を設け、新しい活動や支援方法を取り入れていく。           |